

ぱるつうしん

発行元：社福)藤沢育成会藤沢育成会 サービスセンターぱる
〒251-0013 神奈川県藤沢市小塚592
電話：0466-28-0909 FAX：0466-28-0959
法人ホームページ：<http://www.f-ikusei.or.jp>

平成27年4月号



2015年度のサービスセンターぱるでは、事業所全体のミッションとして「利用者への意思決定支援を日々実践し、インクルージョン社会の実現を目指します。」を掲げました。これを指針にして、スタッフ一同心を合わせて一年間邁進したいと思います。

所長 小林博



4月から新しいメンバーが加わり、新生ぱるに生まれ変わりました。時代と共に変わっていくニーズに合わせて、形をかえながら進化していくことが、サービスセンターぱるの本質だと思っています。柔軟な思考と、変わることの勇気をもって、新年度に挑みたいと思います。

課長 妹尾貢

事務管理部署



ぱる全体の管理、そして複数事業を併せ持つぱるの事務を担っています。

左から 妹尾(せのお)・石塚(いしづか)・上村(うえむら)・小林(こばやし)



グループホーム部署

10ホーム・54名の利用者さんの生活を支えます。



上段左から

坂本(さかもと)・佐藤(さとう)・濱田(はまだ)

下段左から

田中(たなか)・大澤(おおさわ)・高橋(たかはし)

ヘルパー部署



64名のヘルパーさんとともに、利用者さんの外出・余暇等のお手伝いをします。



上段左から

松本(まつもと)・上野(うえの)

水谷(みずたに)・福田(ふくだ)

下段左から

加藤(かとう)・靱山(もみやま)

武内(たけうち)

下瀬 亮(しもせ りょう)さん (異動・入)

ゆうき村からぱるに異動になりました、下瀬 亮と申します。

ゆうき村では、3年間働かせて頂いています。

星の村の担当になり、日々色々なスタッフの方に助けてもらいながらお仕事を覚えています。

今まで、成人の障がいのある方の支援の経験しかないなので、子どもと接するのが新鮮でした。

パワフルな子どものパワーに驚いたり、可愛らしさに癒されています。良い支援が出来るように1つひとつしっかり覚えていけたらと思います。



吉田 訓子(よしだ のりこ)さん (入職)

4月から児童デイサービスでお仕事をさせていただくことになりました、吉田 訓子と申します。

高校生や中学生の元気なパワーをいただいて、頑張りたいと思います。

至らない点も多いとは思いますが、たくさんの先輩から知識を吸収し、感覚を研ぎ澄ませて、ご利用者の皆様に、楽しく過ごせる場所をつくっていかれたらと思っています。よろしくお願いいたします。



深澤 星(ふかざわ せい)さん (入職)

今年度より、カラフルでお仕事をさせて頂く事になりました、深澤 星と申します。

不慣れな点があるとは思いますが、子どもたちと楽しく過ごせていけたらと思っています。宜しくお願い致します。



荒木 司津香(あらかし じづか)さん (入職)

4月から放課後等デイサービスで働く事になりました、荒木 司津香です。

子ども達やスタッフからたくさんの事を学びながら楽しく過ごせたらいいなと思っています。

これからがんばっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



吉川 紗智(よしかわ さち)さん (異動)

ぱるでの5年間、魅力あふれる子どもたちとそのご家族、関係者の方々、そして同僚、先輩スタッフの方々に出会えたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

『もっとぱるで働きたい』そう思いながら、次の場所に行けることは幸せなことだと思います。相手を知ろうとする根本的な姿勢を崩さずに、新たな場所‘湘南だいち’で、利用者さんとともに一緒に成長していきたいと思っています。

貴重な経験と学び、ありがとうございました。

徳淵 まりあ(とくぶち まりあ)さん (異動)

毎日充実していて、あっという間の4年間でした。

元気いっぱいの子供たち、“ありがとう”と伝えて下さる保護者の方、より良い支援のためにと一緒に悩んだスタッフ、素敵な“人”に恵まれたことに感謝しています。湘南あおぞらでも頑張ります！

子ども支援部署

北岡 真衣(きたおか まい)さん (異動)

この度、辻堂駅にあるリート(相談事業所)へ異動になりました。プリズムでの4年間は皆様の笑顔に元気をもらい、学びの多い時間でした。

これからも少しでも皆様のお力になれるよう、より一層頑張ります。ありがとうございました。

増田 和朗(ますだ かずあき)さん (退職)

3年間星の村でお世話になりました。何か思いつくと子ども達の“すごしグッズ”や“プリント”を作っていました。空振りが多い中、短時間でもそれらのグッズで過ごしてもらえると、幸せでした。感謝！！皆様のご健康と幸せを心より祈っております。

鈴木 菜々子(すずきななこ)さん (退職)

この度、5年間働かせて頂きましたサービスセンターぱるを3月いっぱいまで辞めることになりました。ここでの報告となつてしまい、直接お伝えできず申し訳ありません。

この5年間、たくさんのサービスに入らせて頂きました。ヘルパーの仕事柄、今日入ったサービスに次も入れるかという、それは難しく、時には2ヶ月～3ヶ月も間が空いて入るサービスは少なくありませんでした。だからこそ、皆さんに逢えるのが楽しみでした。

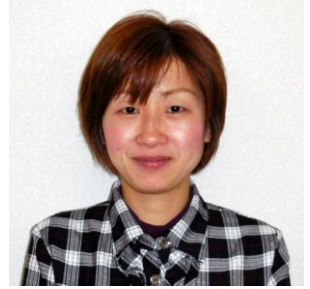
今まで皆様に学ばせて頂いた事を次の仕事場でも発揮できるよう、頑張ります。

5年間本当にありがとうございました。

ヘルパー部署

加藤 智己(かとうともみ)さん (入職)

4月1日より、ヘルパー部署にてお仕事させて頂いていただいています、加藤智己(かとうともみ)と申します。



ぱるの優しく穏やかな雰囲気の中、皆様に親切に仕事を教えてもらっています。

そんな皆様のお役に立てるよう、一日も早く仕事を覚えていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

今年度ヘルパー部署は、総勢71名のヘルパー(コーディネーター7名、登録ヘルパー64名)で、サービス提供をしてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします!!

**ぱる元スタッフ小川さんが、ママになりました!!**

ぱる元スタッフ小川絵理子さんに、男児が誕生しました。2015年4月2日、学年で一番早い誕生日に生まれた、「幸太くん」。ご家族はもちろんですが、ぱるスタッフを始め、みんなが待ちわびた新たな命の誕生でした♪♪♪

写真は、生後5日目のものなのですが、ミルクが欲しいと、大きな声で元気に泣く幸太くん、「どうしたらいいのお〜!」と新米ママの小川さんが、大奮闘中でした☆ (靱山)



グループホームのスタッフは総勢37名！
54名の入居者さんの生活を支えます！

松本 厚子

(入職)

(まつもと あつこ)さん

藤沢育成会ぱるにお世話になります松本厚子です。

先輩方から教えて頂きながらスタートしました。利用者さんと多少気分合わせて行ける様、励みます。宜しくお願い致します。

加藤 英子(かとう えいこ)さん

(入職)

はじめまして。4月から世話人として黒崎・菜の花で勤務することになりました。慣れない仕事で皆様にご迷惑をおかけするかとと思いますが精一杯頑張っていきます。宜しくお願いします。

佐竹 達也(さたけ たつや)さん

(入職)

本年度3月より採用になり、入社しました。佐竹達也と申します。

ハイツレザン・コスモス湘南・黒崎に入ることとなりました。3月は実習や引き継ぎを受け、4月からは一人立ちです。宜しくお願い致します。

荒川 健次(あらかわ けんじ)さん

(異動)

本年度より、湘南セシリアに異動となりました荒川です。昨年度は、利用者の方々、ぱる職員の方々より教わることがとても多く勉強になりました。

今後はその経験を活かして更なるスキルの向上に繋がりたいと考えています。皆様もお元気で。無理せず頑張ってください。

松葉 洋典(まつば ようすけ)さん

(異動)

去年の5月に入社して早いもので約1年が経ちました。利用者さんとの関係もやっと作れ、これからだと思っていましたが、異動となってしまいました。

この1年間の経験を土台にあおぞらでやっていきます。本当にありがとうございました。

渡辺 藤子(わたなべ ふじこ)さん

(退職)

約3年勤務させて頂きましたが、凄く良い勉強になりました。優しい気持ちで接すると相手に伝わり優しさが返ってきました。「今度来る？また来てね」という言葉をかけてもらった時は嬉しかったです。

幅広い仕事内容で難しかったですが、嫌だなと思ったことは1度もありませんでした。ありがとうございました。

**桐ヶ谷 節子**

(退職)

(きりがや せつこ)さん

7年間勤務することができ、皆さんに良くしてもらい、楽しく過ごすことができました。

無事に定年を迎える事ができて、悔いはありません。本当にありがとうございました。

高橋 元子

(退職)

(たかはし もとこ)さん

約4年間お世話になりました。4年間の中で2ホームに入りました。

利用者さん一人ひとり違って関わり方を工夫したり、利用者さんが少しでもご自分で出来るようになった時はとても嬉しかったです。これからもこの経験を活かし頑張っていきます。ありがとうございました。

石塚 和美(いしづかかずみ)さん (異動・入)



4月より、湘南あおぞらから異動してまいりました。石塚和美と申します。

毎年、夏に児童デイサービスのお子様があおぞらの3Fスペース・プールに来てくれるのを楽しみにしておりました。

ご利用者様の皆様と直接お会いする機会は少ないかもしれませんが、皆様のお顔を思い描きながら事務業務を行ってまいりたいと思います。不慣れなところがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

事務・管理部署

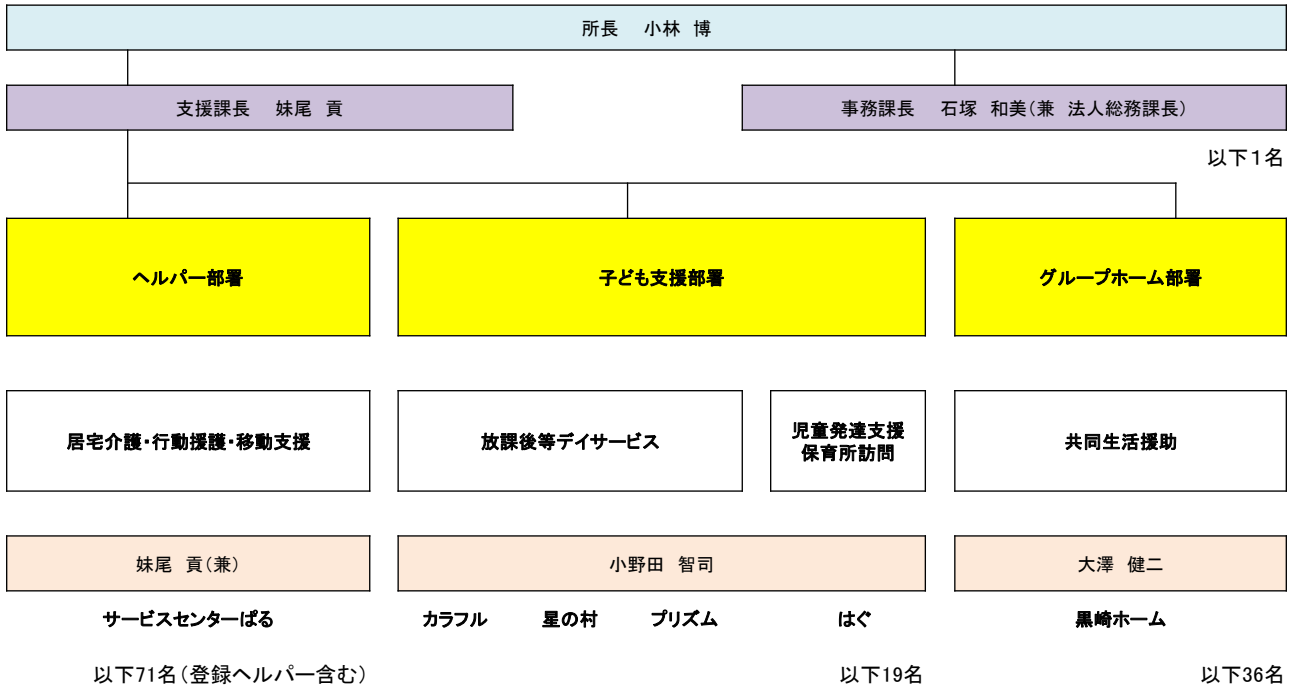
石川 歩(いしかわすすむ)さん

4月から、湘南あおぞら兼法人事務局に異動になりました。

ぱるで社会人としての生活をスタートして10年。関わったすべての方に感謝しています。ありがとうございました。

(異動)

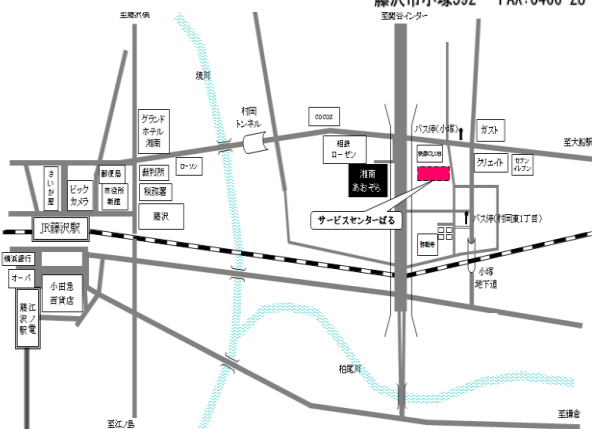
2015年度サービスセンターぱる 組織図



今年度のぱるスタッフは、総勢131名。どうぞよろしくお願いいたします！

《サービスセンターぱる》

〒251-0013 TEL:0466-28-0909
藤沢市小塚592 FAX:0466-28-0959



【バスをご利用の場合】

<行きかた1>

藤沢駅北口より11番乗り場『大船駅行き』または『四季の杜行き』

『小塚』停留所から徒歩2分になります。

<行きかた2>

藤沢駅南口小田急百貨店前8番乗り場『渡内中央行き』もしくは『湘南鎌倉総合病院行き』(教養センター行きは×)に乗り、『村岡東1丁目』停留所から徒歩3分になります。

【徒歩で来所される場合】

藤沢駅北口より徒歩18分

子ども支援部署

カラフル・星の村
プリズム・はぐ

20名のスタッフがそれぞれの場
で元気に支援・療育を行います♪
子ども達は149名！毎回笑顔の
花が咲きますように❀❀

↓ ☆はぐ☆

上段左から 富永(とみなが)・小野田(おのだ)・半田(はんだ)

下段左から 鶺殿(うどの)・大田(おおた)



☆カラフル☆ ↑

上段左から 門馬(もんま)・永島(ながしま)

中断左から 野口(のぐち)・原田(はらた)

下段左から 荒木(あらか)・深澤(ふかざわ)



← ☆星の村☆

上段左から 中村(なかむら)・和田(わだ)・下瀬(しもせ)

下段左から 及川(おいかわ)・蟹江(かにえ)



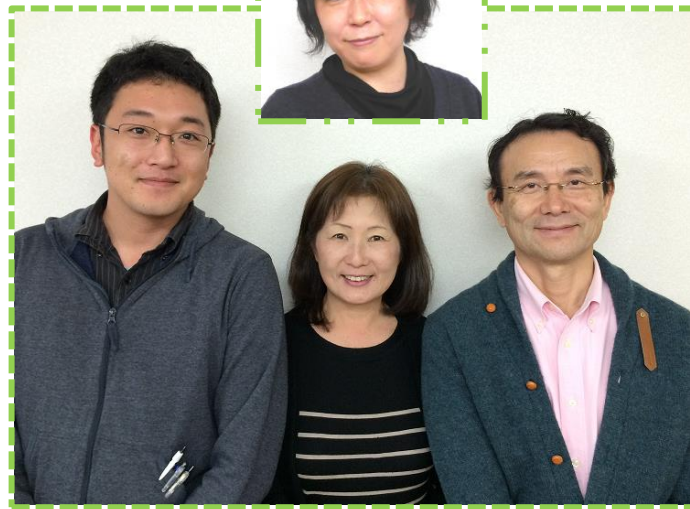
☆プリズム☆ →

上段 吉田(よしだ)

下段左から

大久保(おおくぼ)・井窪(いくぼ)

齋藤(さいとう)



ぱるの 大 部 屋 小 部 屋

所長がシャベリスギッター



「鼻歌と所長の自覚」

毎日ということはないが、時々、鼻歌を歌う

ことがある。もちろん、人前ではやらない。他人に聞かれる心配のない、場所と時間を選んで、むにやむにやと歌う。行き帰りの車の中や、ひとりで道を歩いているとき（もちろん、周りに人通りのないときに限る）、風呂場の中などが鼻歌のステージだ。誰にも聞かれてないところを選んでいるのだから、ステージというのも変なのだが、自己開放感だけで言うワンマンステージという気がしないでもない。

4月初めのある日、中島みゆきの歌の一節が突然頭に浮かび、一日中同じ歌詞を鼻歌で歌っていた。名曲『タクシードライバー』の一節である。

「タクシードライバー 苦労人と見えて 私の泣き顔 見て見ぬ振り」

「天気予報が今夜もはずれた話と 野球の話ばかり 何度も何度も 繰り返す」

手痛く振られた女の子が傷心の中、自宅に帰ろうとタクシーに乗る。ついさつき振られた場面が目につかび、女の子は運転手の手前も

はばかり、後ろの座席でしくしくと泣き続けている。女の子をそれとなく気遣う、タクシードライバーの振る舞いを描写したのが上記の歌詞である。女の子とタクシードライバーとの微妙な気持ちの交流がありありと目に浮かぶ見事な叙景詞である。

なぜこの日の鼻歌が『タクシードライバー』だったのか、ちよつと考えてみた。悲しい失恋の歌だ。最近、手痛い失恋をした？そんなことはありませくん。時は4月の初旬、人事異動の季節だ。人の入れ替わりもいろいろあり、心が疲れてブルーな気分？それも多分、ありませくん。では、なぜ？ふと思いついた。失恋も悲しい気持ちも、女の子の側の事情だ。『タクシードライバー』は大好きな歌で、何十回となく聞いている。この歌を聞くほとんどの人が、失恋した女の子の気持ちに自分を託して、この名曲を聞いていると思う。タクシードライバーは、重要な登場人物だが、あくまでも女の子の失意をそれとなく気遣い、見守っている副主人公である。自分の気持ちを察してくれて、でも余計なことは一切言わず、聞かず、泣き顔を見て見ぬ振りして、はずれた天気予報と野球の話は何度も何度も繰り返すタクシー

ドライバー。なんとという素晴らしい慰めであることか。有難い。こんな女の子の気持ちに感情移入してこの歌に感動する。ずっと、そのようにこの曲を聞いていたと思う。

でも、4月初旬のあの日、「タクシードライバー・・・」と歌詞が心に浮かんだのは、女の子ではなく、タクシードライバーに自分を重ねる気持ちで湧いてきたからではないか。ちよつと口幅ったいけれど、新年度が始まったばかりの「所長の自覚」をあのこと詞に託したのだと思う。つらくてめそめそ泣いている女の子は、わがスタツフたち、車を運転しているドライバーは所長の私。そついう情景を無意識に思い浮かべて、あの歌詞を鼻歌で歌っていたのだ、たぶん。

人の辛さや悲しみに思いを寄せ、でもつまらない励ましなどはせず、淡々とゆつたりと語りかける、空気のように見守る存在。『タクシードライバー』のような苦労人に、所長の私はなりたい。

「タクシードライバー 苦労人と見えて 私の泣き顔 見て見ぬ振り」

「天気予報が今夜もはずれた話と 野球の話ばかり 何度も何度も 繰り返す」